

スマホで業務管理

効率化や
残業削減
作業単位で日報作成

小出製作所



【浜松】小出製作所（静岡眞磐田市、小出悟社長、0538・37・1147）は、スマートフォンを活用した業務管理を2月に始める。約90人の全従業員にスマホを貸与し、日報を作業単位で、そ

の場で打ち込んでもらい管理する。同社は自動車部品向けの金型メーカー。製造現場を中心に作業ごとの無駄を見つけやすくし、効率化や残業の削減につながる。

「Dr. 工程」を、小出製作所にカスタマイズしたものを導入する。投資額は約700万円。従業員は作業ごとの開始・終了時間や内容などをスマホで入力する。これまで日報は1日の全業務が終了した後に作成していたが、作業の無駄の原因を突き止めにくかったほか、日報作成自体に時間がかかっていた。

小出製作所は自動車のエンジンや変速機などのアルミニウム部品を成形するダイカスト金型が主力。今回、全従業員に貸与したスマホには内線通話などが

合研究所（東京都目黒区）の金型製造業向け生産管理ソフトウェア
▲全従業員にスマホを貸与し作業を管理。作業ごとの無駄を見つけやすくし効率化を図る

できるビジネスフォン機能を導入しており、すでに簡易携帯電話（PHS）と固定電話を撤廃。テレワークなど柔軟な働き方に対応できる体制も整えた。小出社長は「コロナ禍で受注に影響はあるが生産性を高めるため、やれることをやっていく」と強調する。